

JSA 神奈川支部通信

No. 1 January 2023 日本科学者会議神奈川支部 発行

事務局長：☎230-0071 横浜市鶴見区駒岡 3-30-G-408 飯岡ひろし

HP : <https://jsa-kanagawa.jp>、携帯電話 080-1987-0994、E-mail : [iioka408\(at\)gmail.com](mailto:iioka408(at)gmail.com)

年会費 10800 円、院生・読者 5400 円 ゆうちょう銀行振替口座 0280-1-12774 日本科学者会議 神奈川支部

この号の目次

- | | |
|--------------------------------------|-------------------|
| ◆ JSA 神奈川支部研究交流会と話題提供の募集について | JSA 神奈川支部幹事会 |
| ◆ 2. 11 「建国記念の日」に反対する神奈川県民のつどい | 2. 11 県民のつどい実行委員会 |
| ◆ PFOS をはじめとした有機フッ素化合物の有害性 | 惣田昱夫 |
| ◆ 栄区九条の会学習会「宗教、平和、憲法、一人の牧師の視点から」の報告 | 後藤仁敏 |
| ◆ 栄区革新懇総会と記念講演「横須賀火力発電所建設問題と気候危機」の報告 | 後藤仁敏 |
| ◆ JSA24 総学 in 大阪に参加して | 支部事務局長 飯岡ひろし |
| ◆ 「日本の科学者」12月号特集実効ある気候政策を迫るを読んで | 神奈川民間懇 北山宏之 |
| ◆ 11. 30集会「いま 戦争と憲法に向き合う」の報告 | 九条かながわの会事務局 |
| ◆ 安保法制違憲かながわ訴訟、東京高裁での第1回控訴審の報告 | 後藤仁敏 |
| ◆ 自己紹介：神奈川支部の活動に参加して | 益田総子 |

JSA 神奈川支部研究交流会と話題提供の募集について

JSA 神奈川支部幹事会

新春恒例の支部研究交流会は、かながわ総研の移転のため2月18日（土）14時から17時まで、JR 石川町そばのかながわ労働プラザ（L プラザ）で開催します。研究交流会では、萩原支部代表幹事の『危機にたつ日本経済—日米関係から読み解く』の講演。入会されたS会員の教育問題の話題提供が決まっています。

多くの会員の皆さんから、幅広い話題を提供していただくようお願いします。発表を希望者される方は、氏名と話題のタイトルを事務局（[iioka408\(at\)gmail.com](mailto:iioka408(at)gmail.com)、または、神奈川支部ホームページの「問合せ」から）までお知らせください。

発表の時間は発表者の人数でかわりますが、おおよそ、15分程の予定です。パソコンを使う方は、PC、プロジェクター、スクリーンを事務局で用意しますので、データを USB メモリーなどに格納して当日お持ちください。また、終了後、近隣で有志による新年会を開催したいと思います。

なお、当日、13時から、かながわ総研事務所にて「日本の科学者」と「支部通信」の3月号の発送作業と支部幹事会を行ないます。よろしければ、こちらにもご参加ください。

JSA 神奈川支部 2023 年研究交流会

日時：2023 年 2 月 18 日（土）14:00～17:00

終了後、有志で新年会の予定

会場：かながわ労働プラザ（4F・11号会議室）

横浜市中区寿町 1-4、045-633-5413

交通：JR 石川駅中華街口（北口）徒歩3分、地下

鉄伊勢佐木長者町駅出口2徒歩12分

連絡先：飯岡ひろし（携帯：090-1557-9941、[iioka408\(at\)gmail.com](mailto:iioka408(at)gmail.com)）



「建国記念の日」に反対する 2.11 神奈川県民のつどい

2.11 県民のつどい実行委員会

JSA 神奈川支部も構成団体に参加している毎年恒例の 2.11 県民のつどいが、下記の要領で開催されます。今年は「憲法と教育の今日的課題～人権・平和・民主主義の守り手は」について元文部科学省事務次官の前川喜平さんが講演します。多くの皆さんの参加を呼びかけます。

テーマ：憲法と教育の今日的課題～人権・平和・民主主義の守り手は

日時：2023 年 2 月 11 日（土）13 時 30 分開会 受付 12 時 30 分～

12：50 頃から DVD 上映あり

会場：かながわ県民センター2 階ホール（横浜駅西口下車 徒歩 5 分）

講師：前川喜平（元文部科学省事務次官）

資料代：500 円（高校生以下は無料）

事前申し込み不要、先着順、定員 260 人 オンライン配信なし

※感染防止のため、当日はマスク着用・検温・手指消毒にご協力ください。

※コロナ感染防止で会場が使用不可になった場合、「つどい」は中止します。

講師プロフィール：前川喜平（まえかわ・きへい）さん

1955 年、奈良県生まれ。1979 年、東京大学法学部卒業。文部省入省。宮城県教育庁行政課長、初等中等局長などを経て、2016 年文部科学事務次官、2017 年退官。現在、現代教育行政研究会代表。福島県と厚木市で自主夜間中学のスタッフも務める。著書に「面従腹背」「権力は腐敗する」（いずれも毎日新聞社出版）など。

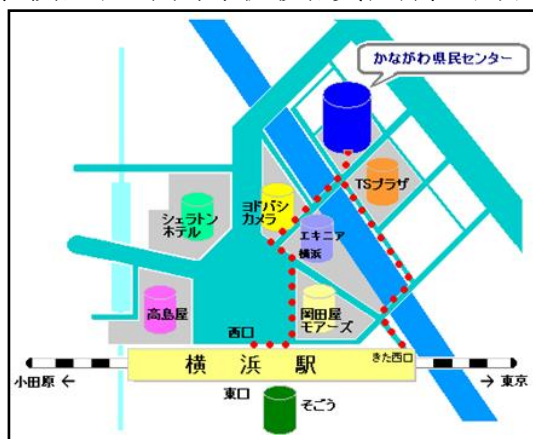
主催：2.11 神奈川県民のつどい実行委員会

連絡先：神奈川労連（担当・住谷） 045-212-5855

当日の連絡先：神奈川労連（担当・住谷） 080-6709-4147

実行委員会構成団体：日基督教団神奈川教区靖国天皇制問題委員

会、日本キリスト教会横浜長老教会靖国神社問題委員会、在日大韓基督教会横浜教会、神奈川県教育運動連絡センター、神奈川私学教職員組合連合、横浜市立高等学校教職員組合、神奈川県立障害児学校教職員組合、神奈川県教職員連絡協議会、神奈川、高校教職員連絡会、横浜教職員の会、川崎市教職員連絡会、日本科学者会議神奈川支部、神奈川労連、神奈川自治労連、自由法曹団神奈川支部、青法協神奈川支部、神奈川県歴史教育者協議会、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟神奈川県本部、アジア・フォーラム横浜、県民連絡会、教科書・市民フォーラム、神奈川平和遺族会



はじめに

有機フッ素化合物（PFAS）は人工的に合成された化学物質で自然界に存在しない物質です。しかもこの化合物はもともと分解しないものとして作られたため自然界の生物等による分解が困難なものである。そのためか「永遠の化学物質」とも呼ばれています。

PFAS は原子間の結合が強いため油分や水分等を寄せ付けない性質を持っており初めは原子爆弾のウラニウム濃縮で出る化学物質の腐食防止で使用されていました。戦後この物質を開発したデュポンでは成型がし易いペルフルオロオクタン酸（PFOA）を作り出し、焦げ付かない「テフロン」として商品化し、これが世界中に広まりました。

また、いま大きな問題となっているペルフルオロオクタンスルホン酸（PFOS）が 1953 年に撥油性と撥水性を持つ物質「スコッチガード」として開発されました。

有機フッ素化合物は耐熱性、耐薬品性、海面活性等の優れた性質を持っているため各分野で利用され、ハンバーガー等の油分の多い食品の包装材や化粧品等に利用されるとともに、難燃性ということで、泡消火剤等が開発されました。

1. PFOS をはじめとした有機フッ素化合物とは

PFOS は PFAS の代表的物質です。PFAS は、ペル(パー)フルオロアルキル化合物およびポリフルオロアルキル化合物を指し、約 4700 種、人工的に合成された有機フッ素化合物群の総称です。化学物質構造はペルフルオロメチレン基(—CF₂—)又はペルフルオロメチル基(—CF₃)を持っている化学物質のことです。

1.1 PFAS の特徴

PFAS は水、油脂、汚れをはじく性質があり、これらの特性のため、20 世紀半ばから大量に製造され紙、布、焦げ付き防止コーティングフライパン、電子機器、化粧品、スキーのワックスなど多数の消費者製品、金属やプラスチックの表面処理、洗浄剤、農薬、車両や建設業界、エネルギー部門、塗料や泡消火剤等々多くの分野で利用されています。

PFAS の特徴を表 1 に示しました。生分解性の試験では分解が認められなかったように下水処理場等での処理ではほとんど分解せず放流されていると考えられます。公表された人体での半減期では 5 年、人体からの排泄

表 1 PFAS の特徴

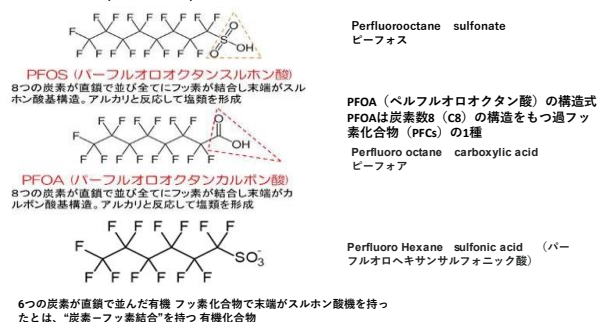
データ項目	データの値等
融点	>400℃
沸点	不明
水溶解度	370mg/L(淡水)、124mg/L(天然海水、22～23℃)
生分解性	活性汚泥、低湿培養物、土壌培養物中での好氣的生分解試験では、分解性は認められなかった。一方、下水汚泥を用いた分解試験においても生分解性は認められなかった。
蓄積性	ニジマス:BCF = 2,900(肝臓)～3,100(血漿)・丸ハゼ:BCF 二約 2,400(全魚体)※BCF とは一定の期間水生生物が化学物質の曝露を受けたときの生物体内の化学物質濃度を、その期間の周辺水中の化学物質濃度で割った値で、この値が大きいほど生物体内に濃縮しやすい。
発がん性	国際的主要機関(IARC、EU、EPA、ACGIH、NTP、日本産業衛生学会、DFG)の分類は全て「一」であった。

期間は 40 年ですが、それ以上に人体での蓄積が進み排泄されないこと、公表された期間以上に分解も進まないと考えられます。

1.2.1 PFAS の構造と名称

PFAS は炭素-フッ素結合を持つ化合物で炭素の数や官能基(有機化合物を特徴づける原子団のこと)も様々ですが、その炭素数や官能基の種類などによって名称が決まります。世界で規制されている PFOS も PFAS の一種です。その名称と構造を図 1 に示しました。

図1 PFOS,PFOA,PFHxSの構造式



1.2.2 なぜフッ素化合物は分解しにくい

フッ素(F)は電気陰性度(結合時の引っ張る強さ)が最も大きい(3.98)ため他の分子と相互作用しにくくなり結合が強くなります。その性質により水や油を弾く性質が生まれ、分解されにくくなります。

1.2.3 スルホン酸基、カルボン酸基の役割は?

フッ素の付いた炭化水素は疎水性や揮発性が高まります。オゾン層を壊すとして禁止となったフロンガス類も該当します。反応性のないフッ化物を利用するため疎水性の分子にスルホン酸基などの極性(親水性)を持った官能基を結合させることで、分子内に非極性(疎水性)と極性(親水性)構造を持つ界面活性剤となり、水にも油にもなじむ性質に変えることが出来ます。用途により生まれたのが PFOS と PFOA です。これまで炭素数 4~14 の多くのフッ素化合物が作り出されました。その数 4700 種と言われていますが、もっと多いかもしれません。

1.2.4 フロン代替物の特徴と問題

PFOS と PFAS が問題となり規制されたため、より短いフッ素化合物が代替品として生産されました。短鎖 PFHxS、PFCAs や PFNA などがこれに該当します。この代替物も分解されにくい化学物質です。特に代替品 PFHxS の汚染も進行しています。EU の REACH 規則で 2023 年 2 月 25 日から規制がはじまります。

2. 有機フッ素化合物と健康被害と環境汚染

2.1 健康被害と代表的病状

人体の有機フッ素化合物の被ばくは 1975 年米国の大学研究者により報告され、2007 年の USA の調査では国民の 99.7% に PFOA が確認されています。臍帯血の検査や母乳の検査により胎児や乳児への被曝も確認されています。

動物、食用となる豚やニワトリだけでなく野生動物、発生源から遠く離れたホッキョクグマからも検出されています。河川の淡水魚、貝類やカニ類の汚染も高い水準です。

これまでデュポンの調査で判明した健康被害は主に 6 種類、①妊娠高血圧症ならびに妊娠高血圧腎症、②精巣がん、③腎細胞がん、④甲状腺疾患、⑤潰瘍性大腸炎、⑥高コレステロールですが、がんについては国際的主要機関での報告はまだないようです。

日本では 2013 年北海道大学の研究で「汚染濃度の高い妊婦から生まれた胎児は出生時体重が低い」「臍帯血 IgE (免疫) 濃度が低い」と報告されています。最近の報告では「ペルオキシゾーム(膜で囲まれた細胞内小器官)」の増殖作用が有り、これにより「活性酸素の生成、発ガン作用、コレステロール代謝の攪乱など」の影響が現れる。また「生体内で胆汁と誤認され、薬物の代謝などにみられる腸肝循環を起こす」。「免疫毒性臍帯血中の PFOS・PFOA 濃度と

乳児の体重、頭周長とに相関がある」とされています。

2.2 人体の汚染と環境汚染

PFAS 類の人への汚染状況はどうなっているのでしょうか。図2に多摩地域住民の血清中の PFAS 濃度について示しました。PFOS の平均値は府中市で 18ng/mL、国分寺市で 12ng/mL、全国平均と比べ各々 1.4 倍、1.2 倍でした。PFOA は 1.6 倍、1.4 倍、PFHxS は 19 倍、12 倍で汚染が進んでいることがわかります。

京都大学の沖縄の調査では宜野湾市、北谷町の町民から高濃度の PFOS 等が検出されています。環境省の全国調査でも人体への汚染が広がっていることが報告されています。人間（妊婦の臍帯血）の汚染度を表 2 に示しました。沖縄や国分寺の妊婦に多いことがわかります。濃度についてです。ppm は 1 ミリグラム（千分の 1 グラム）が 1L の水に溶けたときの濃度です。ppb は ppm の水溶液をさらに千倍に薄めたときの濃度です。単位から見ると 1g（グラム）、その千分の一が μ （マイクリ）g、その千分の一が n（ナノ）g です。ng/mL は L で換算にすると μ g/L となり ppb となります。1 ナノグラムは 10 億分の 1 グラムです。

2.3 環境汚染と飲料水汚染

PFAS による環境汚染の原因は主には 1) 製造工場、2) 軍事基地と民間空港、3) ごみ焼却場、4) 排水処理場と言われています。1) ではデュポンのテフロン工場、日本では京阪地域のダイキン工業がある。2) では沖縄の米軍基地から排出された PFOS 類が河川や飲料水を汚染し、最も汚染度の高い大工廻川 1675ng/L で飲料水目標値の 34 倍でした。

多摩地域での地下水汚染も進行している。東京都の調査では 2 つの企業と米軍の横田基地によるものと推定されています。住民の飲料水としている東恋ヶ窪浄水所で 101ng/L、府中武蔵台浄水所で 101ng/L です。規制値の 50ng/L の 2 倍と高い値となっています

神奈川でも蓼川の厚木基地下流で 190ng/L（合計値）、引地川福田橋で 340ng/L を観測しています。横須賀市の海軍施設では生活排水処理施設入口で 8420ng/L、出口で 12900ng/L と処理により排水中の値が高くなっています。これは排水施設がきちんと稼働していない、また稼働していても処理できないことを示しています。処理排水の放流先は海です。海水の汚染が心配されます。飲料水も座間市の相模が丘配水場の出口で 86ng/L を記録しています。地下水を水源としていることから米軍厚木基地からの汚染が疑われます。表 3 に環境省の神奈川県内の汚染

図 2 多摩地域住民の血清中の PFAS 濃度

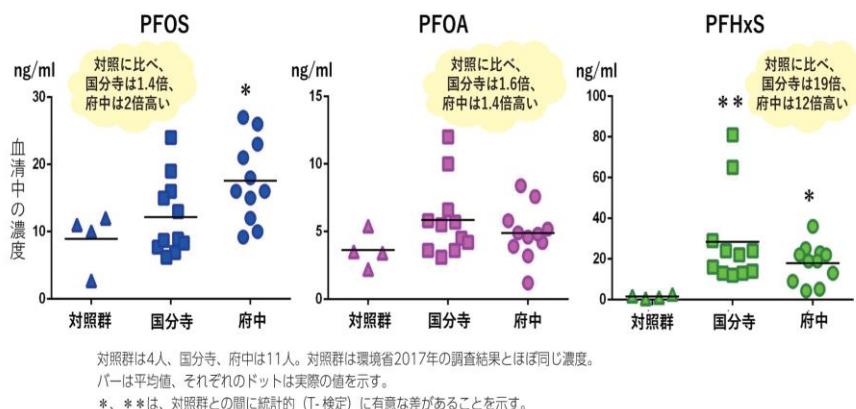


表2 人間（妊婦の臍帯血）の汚染度

	PFOS(ng/L)	PSOA(ng/L)	PFHxS(ng/L)
東京国分寺	15	4.85	20.5
沖縄	13.7	3.2	16.4
札幌	5.2	1.3	
北海道	3.4	2	
東京	15	4.85	

調査（2020 年）と表 4 に相模原市相模が丘配水場の PFAS 類を示しました。消火訓練等で使用された泡消火剤の処理水が地下浸透していることも考えられ、汚染が長期にわたる可能性があります。要観察です。

3. PFAS に関する各国の規制

PFAS による環境汚染や野生生物への蓄積、人間の血液中の増加による健康被害が報告されたことにより、欧米を中心に化学物質の規制強化の動きが進みました。日本では化審法、水道水質基準、や水質汚濁防止法により規制されています。各国の規制について表 5 に示しました。

表 3 環境省の神奈川県内の汚染調査（2020 年）

市町村名	地点区分	地点	河川名	PFOS(ng/L)	PFOA(ng/L)	合量(ng/L)
綾瀬市	地下水			1300	48	1348
綾瀬市	地下水			20	17	21.7
茅ヶ崎市	河川	古相模橋	千ノ川	24	18	42
大和市	地下水			35	5.5	40.5

表 4 相模原市相模が丘配水場の PFAS 類

採水場所	原水(ng/L)		浄水(ng/L)相模が丘配水場出口	管末給水栓蛇口(ng/L)
採水月	第 3 水源	深井戸 7 号		
令和 3 年 7 月	22	-	19	6
同 10 月	100	47	70	36
同 11 月	95	37	13	11
令和 4 年 1 月	72	-	10	11
同 4 月	78	43	20	11

表 5 PFAS の各国の規制【2022 年 6 月】

		PFOS	PFOA	PFHxS	PFCAs	PFHxA	PFBS	全 PFAS
国際条約	POPs 条約	2009 年付属書 B	2019 年付属書 A	2022 年付属書 A	2022 年 POPRC で審査 (C9-C21)	—	—	—
EU	REACH 高懸念物質 (SVHC)	—	2013 年 SVHC 追加	2017 年 SVHC 追加	2012 年 (C11-C14) 2015 年 (C9) 2017 年 C10SVHC 追加	—	2020 年 SVHC 追加	—
EU	REACH 制限物質 (付属書 VII)	—	—	提案中	2023 年 2 月施行予定 (C9-C14)	提案中	—	提案予定
USA	TSCA	2002 年 SNUR 追加	2020 年 SNUR 追加	2007 年 SNUR 追加	2020 年 SNUR 追加 (C7-C20)	—	—	2021 年規則案公表
日本	化審法	2010 年第一種特定化学物質指定	2021 年第一種特定化学物質指定	審議予定	—	—	—	—
日本	水道水質基準	2020 年 PFOS と PFOA の合算値として水質管理目標設定項目に追加		2021 年要検討項目に追加	—	—	—	—
日本	水質汚濁防止法	2020 年 PFOS と PFOA の合算値として人の健康の保護に関する要監視項目に追加		2021 年要調査項目				

内藤環境乾る(株)のパンフレットより引用

4. EPA のガイドラインと今後の対策

4.1 EPA のガイドラインの意味するもの

EPA は 2022 年 6 月 15 日に PFOS は 0.02 ナノグラム、PFOA は 0.004 ナノグラムに規制値を変更すると発表しました。その理由として最新の科学的見地を踏まえ「ゼロに近い量でも PFAS が発がん性や免疫力の低下など人体に及ぼす悪影響の可能性」があり、「生涯にわたって摂取し続ける影響を EPA は 2022 年 6 月 15 日に PFOS は 0.02 ナノグラム、PFOA は 0.004 ナノグラムに規制値を変更すると発表しました。

その理由として最新の科学的見地を踏まえ「ゼロに近い量でも PFAS が発がん性や免疫力の低下など人体に及ぼす悪影響の可能性」があり、「生涯にわたって摂取し続ける影響を考慮し決定」したと説明しています。また「ワクチン等の効果の低下」も指摘しています。これは何を意味するかですが、1) PFASは微量でも人間の免疫機能に影響を与える。2) 今後ますます蓄積が増加する。3) PFASが微量でも分解しないこと。4) 下水道の処理では分解除去できないこと。5) 近い将来、人間の生殖機能にも大きな影響を与えるということを踏まえた発表だと考えられます。猛毒ダイオキシンや PCB との違いは PFAS がスルホン酸基、カルボン酸基の官能基を持っていることにあります。ダイオキシン等は体内の脂肪部分に主に蓄積しますが、PFAS は血液中に入り分解せずに蓄積し続けます。分解困難な PFAS は排泄するにも 40 数年かかるとされていますので、血液中に蓄積し続けます。いつ人類滅亡の引き金となるか分かりません。EPA ではその点も顧慮し勧告したものと考えています。これまでの規制値の基準は毒性の評価 (mg/L) でしたが、免疫、ワクチンの効果の評価 (pg/L) に変わったこと、そこまで化学物質の複合汚染の影響が出始めていることを示しています。ちなみにダイオキシンの水質規制値は 1pgTEQ/L です。

4.2 分析精度と濃度

PFAS の分析は液体クロマトグラフ／タンデム質量分析計 (LC/MS/MS) で分析しますが、現在の分析精度は 5ng とされています。pg はさらに 1000 分の 1 ですから規制値を精度よく値を出すためには分析方法の変更が必要です。微量分析は濃縮が必要です。EPA ではカートリッジで濃縮ができるとしています。PFAS は特殊な分析ですので専門家の養成が必要となります。

微量分析の場合は数値で混乱します。p (ピコ) を基本にした単位換算を表 6 に示しました。

表 6 p (ピコ) による数値換算表

g	1000000000000pg	1 兆 pg
mg	1000000000pg	10 億 pg
μ g	1000000pg	100 万 pg
ng	1000pg	千 pg
pg	1pg	—

4.3 今後の対策

現在の目標値と EPA の勧告値を整理して表 7 に示しました。EPA の勧告値を受け EU 等でも新しい規制値の検討が迫られています。EU 内の規制値が高い国ではあまり汚染が進んでいないこともありますが、EPA の勧告値は想像以上に厳しい値です。見直しは必至と思われます。

日本では各国より規制値が厳しいとされてきましたが、全国的環境調査結果では PFAS の数値が高いといえます。在日米軍や基地、工場等が保有する PFAS の量は相当数になると考えられます。これらが環境中に出てくるようなことがあれば日本の河川や地下水の汚染、海洋汚染は度を越した濃度となります。至急調査しその廃棄処分方法を検討する必要があります。また国内の河川や汚染が疑われる土壌の調査、飲料水の調査も行い、監視も強化していく必要があります。特に、これまで汚染が明らかになっている地下水や河川、飲料水等を再調査して基準値以下となる対策の構築は急務です。

おわりに

これまで微量化学物質の規制についてはあまり問題とされてきませんでした。環境ホルモン

表7 PFASのUSAと日本の暫定指針値		
(単位: ng/L)	変更前	変更後
USA EPA	PFOS+PFOA 70以下	PFOS 0.02以下 PFAS 0.004以下
日本	PFOS+PFOA 50以下	?

として問題となり規制が進んだダイオキシンや PCB 汚染はいまも続いています。化学物質の汚染は規制されても長年にわたり汚染が続きます。現在では新しい化学物質が毎年何千とも言われるほど生まれています。製造する企業等は廃棄まで考えて製造することが求められています。特に分解しないとされる有機フッ素化学物質は一旦人体に入ると排出まで 40 数年かかるとされています。分解しない化学物質の生産中止は不便となる場合もありますが、生産・使用を中止すべきです。未分解の化学物質の行く先は海洋です。海洋生物が取り込んで濃縮したものを人間が食するという構図となります。多種多様に生産されている化学物質の規制と管理は一層重要です。今回の EPA 勧告は微量化学物質の管理の重要性を示しています。この勧告に沿った新しい規制値の作成が国際的にも国内でも重要です。

参考引用文献

1. ジョン・ミチエル、小泉昭夫他 永遠の化学物質 水の PFOS 汚染、岩波ブックレット、1030、2022. 1
2. 諸永裕司 消された水汚染、平凡社新書、2022. 1
3. 日本環境化学会 地球をめぐる不都合な物質、講談社、2019. 6
4. シャナ H. スワン（野口正雄訳） 生殖危機、原書房、2022. 1
5. 小泉昭夫 京都大学名誉教授等の研究論文
6. 岸令子 北海道大学、特別招聘教授の研究論文
7. 堀久雄、フッ素化合物の分解と環境化学、共立出版、2017. 11
8. Wikipedia 他
9. EPA 発表内容 Federal Register/Vol. 87. No. 118/Tuesday, June 21, 2022/Notices
10. JEPA、東京多摩地域住民の PFAS（有機フッ素化合物）血液検査(2020 年 8 月)
11. 内藤環境管理(株)、PFAS の特徴と各国の規制について、2022. 6
12. 大村洋子、有害物質 PFOS って？シンポジウム、2022. 11

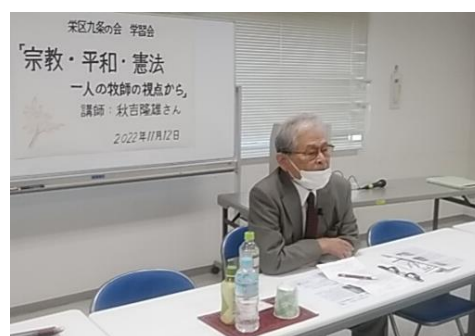
栄区九条の会学習会「宗教、平和、憲法、一人の牧師の視点から」の報告

後藤仁敏

安倍元首相の銃殺事件が起こり、旧統一協会の問題がクローズアップされました。あらためて、宗教について考える機会が必要ではないかと、栄区九条の会世話人会で相談し、港南台 9 条の会世話人の秋吉隆雄牧師に講演をお願いしました。快くお引き受けくださり、2022 年 11 月 12 日にあ一すぷらざ 1 階研修室 A で学習会を開催し、21 人が参加しました。

最初に、司会の私が、学習会の経緯と根岸線沿線九条の会連絡会世話人でもある秋吉さんを紹介しました。図 1 講演する秋吉隆雄さん

秋吉さんは講演レジメに沿って、次のように話しました（図 1）。聖書のイエス・キリストとサタンの会話は、「わが世の春を謳歌するものはサタンに魂を奪われている」という神話的表現である。独裁者は権力を掌握して人間否定に走り、権力は悪魔化する。国民が権力を監視し、権力の暴走を防ぐために国家の統治を規定す



る憲法がある。

米国の福音・原理主義者は、聖書を尊重し、一見敬虔なクリスチャンでありながら、父権的家族を主張し、中絶や同性愛を許さない。聖書は2000年間の歴史書であり、逐語靈感説は成立しない。一方で「殺すな」と書き、他方で「滅ぼし尽くせ」と書いており、矛盾や非科学的記述も多い。事実ではない神話的表現も多い。

イスラエルはAD70年にローマ軍によって国を失ったが、驚くべき執念によって1948年に再建された。米国政界のユダヤ人ロビーが世界の経済政策の大半をにぎり、米国は北朝鮮の核兵器保有は非難してもイスラエルの核兵器保有、パレスチナ人の排除、虐殺については一言も言わない。

ロシア正教会はプーチンを支持し、ウクライナ侵攻を是認している。ウクライナで死ねば罪が許されると、戦死者を国のための英霊として靖国思想と同じことをして戦争に加担しているキリスト教史ではまれな存在だ。一方、ロシア人にはドストエフスキーやトルストイもいて、ロシア正教全体を非難すべきではない。

統一教会は教祖である文鮮明をメシアとし、神格化している。勝共連合として保守勢力に取り入り、家父長的家庭を重視し、人工中絶と同性愛を否定し、合同結婚式をおこなって人権を無視している。日本はエバ国で、戦時中の蛮行への贖罪をお金で償うとし、多額の献金をさせて家庭崩壊を招き、二世に悲劇を与えている。安倍元総理の殺害後、自民党の政策と共通性から、政界との関係が明らかになった。勧誘時には正体を隠し、洗脳教育をして地獄と悪霊、先祖の因縁を説き、不安と恐怖から信仰に引き入れる。

本来、信仰とは喜び（愛と自由）で、平安、希望を生み出すものだ。親鸞は「南無阿弥陀仏」と唱えれば末法の世でも阿弥陀仏の慈悲に包まれると説いた。庶民の目覚めは権力者の脅威となり、キリストは十字架にかけられた。原理主義、ロシア正教、旧統一教会は自分の宗教に埋没し、隣人の生を否定している。

ドイツ・キリスト者の場合は、ヒトラーに対して、戦時下ではカール・バルトラがヒトラーに非服従を掲げバルメン宣言を出した。戦後は、ヴァイツゼッカーは「過去に目をつぶる時、今が見えない、歴史が展望できない」と述べた。

日本・キリスト者の場合は、戦時中に戦争協力したことを戦後、戦争責任を告白した。加害者性の認識は自虐ではなく、人間の誠実さの問題である。日本国憲法は、日本人310万人の犠牲、アジアでは2000万人以上の犠牲者への謝罪、贖罪的な意味をもつものだ。

宗教とは、生の絶対的是認、人間の尊厳、平和を求めるもので、権力者が悪魔に魂を奪われていないか権力の横暴を監視するものだ。現代の宗教戦争といわれるものの根底には経済戦争がある。生の絶対的是認は宗教、無宗教問わず一致した理念として承服すべきだ。

日本と世界で起こっている出来事のなかで、公平と正義に基づく平和を求めて、皆さんと共に歩きたい。

講演後、多くの質問がでましたが、秋吉さんは丁寧に応えられました。最後に、世話人の安部直幸さんが閉会の挨拶を述べました。宗教は人を喜ばすもので、人を不幸や恐怖に突き落とすものではないとの思いがよく理解できた学習会となりました。素晴らしい講演をしてくださった秋吉さん、参加された皆さんに厚くお礼を申し上げます。

コロナ禍で開催できなかった栄区革新懇が2年ぶりに11月23日にサカエスタ中会議室で総会を開催し、20人が参加しました。

鈴木陸郎さんの記念講演

はじめに記念講演として、横須賀革新懇事務局長で横須賀火力発電所建設を考える会代表の鈴木陸郎さんが「横須賀火力発電所建設問題と気候危機」について、スライドを用いながら次のように話しました（図1）。



図1 講演する鈴木陸郎さん

横須賀火力発電所は1・2号機石炭火力発電所として1960年に発足、1970年には8号機の運転が開始し世界一の火力発電所となったが、2004年には1号機、2006年には2号機が廃止となり、2010年には全機長期計画停止となった。しかし、2011年の東日本大震災で電力不足が起こり、3・4号機が再稼働したが、2014年には全面停止となり、2017年には全機廃止となった。新しい発電所は、1号機が2023年、2号機が2024年の運転開始の予定で建設され、毎日1万トンの石炭を燃やし、約2万トンのCO₂を排出することになる。

CO₂は空気中に0.004%しか含まれないのに、温室効果ガスとして大きな役割をしている。世界規模で異常気象や大災害を引き起こしている。今年だけでも、イギリスでは最高気温40.3℃を記録し、中国では熱波により干ばつが起こり、パキスタンでは国土の3分の1が水没する大洪水が起こっている。気温上昇1.5℃を目標にするには、2030年までに日本では60%のCO₂排出削減が必要で、省エネと再エネに転換しなければならない。なかでも、石炭火力は、発電は3割なのにCO₂排出は6割なのだ。

私たちは世界の司法判断から学び、横須賀での発電所建設にあたって行われた環境影響評価法に基づく手続きに不備があるのに、「確定通知」を出したのは違法であり、これを取り消せとの訴訟をしている。来年1月27日が結審の予定だ。

いまの気候変動は環境問題であり、いのちの問題、人権問題である。物質循環による自然の回復力には限界があるのに、科学を無視し、利潤第一主義で巨大化した資本の活動が続けられている。気候危機はこの社会がこのままでいいのかを鋭く問い、新しい社会をつくるチャンスともなっている。若者の関心も高く、一緒に運動を進めている。皆さんのご理解、ご協力をお願いしたい。

総会議事

総会議事では、安部直幸さんが座長をつとめ、議事が進行されました。はじめに、代表世話人の私が「栄区革新懇は15年活動し、日隈威徳さんから広谷義雄さんまで、多くの仲間が逝去された。コロナ禍で思うような活動ができなかったが、さまざまな運動が展開された2年間の総括し、新しい仲間を増やし、今後の活動の課題を討議しよう」との開会挨拶をしました。

次いで、4区市民連合の小堀諭さんと、逗葉革新懇の天野清司さんが来賓挨拶され、神奈川革新懇の斉田道夫事務局長のメッセージが紹介されました。

筒井完治事務局長から、第13期と第14期の活動報告と第15期の課題が報告されました。

安保法制廃止 憲法を活かそうオール栄区の会への参加、神奈川4区市民連合での活動、カジノ誘致を問う住民投票直接請求署名運動、昨年の横浜市長選での歴史的勝利、市民のための市政を進める栄区の会の結成、昨年の市民と立憲野党との共同での衆院選挙で早稲田ゆきさんの再選を実現した活動、今年の参院選での立憲野党2議席をめざした活動、今後の取り組むべき課題について述べ

ました。共産党市議予定候補の植木まりこさんからは、山中市政を支えるため、4月の市議選にのぞむ決意が述べられました。質疑応答の後、報告は確認されました。

次いで、近藤洋子さんから会計報告が、野崎吉司さんから会計監査報告があり、さらに筒井さんから第15期の役員が提案され、いずれも拍手で承認されました。最後に、野沢逸男世話人から閉会の挨拶があり、大きな拍手とともに、終了となりました。

冷たい雨の降りしきるなかでの総会でしたが、タイムリーな記念講演、活動報告と課題についての活発な討論があり、参加者の熱意あふれる総会となりました。

JSA24 総学 in 大阪に参加して

支部事務局長 飯岡ひろし

日本科学者会議が隔年に開催する『総合学術研究集会』（略称『総学』と言うそうです）に参加しました。前回の2020年はコロナ禍でインターネットでしたが、2022年は11月19日から12月11日まで『in 大阪』と付記されるように、全体会の大阪大学豊中キャンパスほか計8会場とオンラインの併用によるハイブリッド方式の開催となりました。私は、総学の参加は初めてで、11月19日の開会式をかねた全体会に参加してきました。

総学の第1回は1976年12月11日から12日まで、東京大学で開催され8分科会77報告がされています。以来、隔年で開催されていますから、歴史のある学術集会といえるでしょう。第1回の記念講演は「農村医学の創造」、「人間と地球の未来を考える－科学の世紀への転換と科学者の責務－」（第13回）、「平和で持続可能な社会を目指して－沖縄から考える－」（第23回）などその時々課題を取り上げてきました。

24 総学のメインテーマは「新型コロナウイルス・気候危機下の科学と社会」、サブテーマは「脱炭素・脱原発・脱貧困」となっています。オンラインでは特別報告と32の分科会開かれることになっています。サーキュラーには「テーマにはそうした困難の解決に科学の成果を生かし、市民とともに解決の方向を考えようという思いが込められ」と記されているように、全国から延べ155名の科学者、技術者、学生、市民などが発表するという、最新の知見と幅広い企画、さまざまな立場の人が交流できる例のない学術集会といえます。

この原稿を書いている時点では、オンラインで参加のする予定の12月11日の特別報告「気候危機」は明後日ですから、大阪大学豊中キャンパスの全体会の特別報告として「戦争と平和」のテーマについて、簡単に述べたいと思います。戦争、コロナ、気候危機は現代人類がかかえる課題で、科学者の取組が問われるとともに、すべての国家がその枠組みをこえる人類の英知の結集なしには、容易に解決できないものです。

全体会のはじめの特別報告は「戦争と平和 核兵器の開発の歴史を中心に」で、下田 正氏（元大阪大学理学研究科）でした。プーチンはウクライナ侵攻を正当化し、核兵器の使用をち

らつかせていますし、日本では岸田政権が軍事費の倍増をかけるなかで、何としても核兵器の使用を阻止することが課題です。この報告には下田氏が大学での講義で、学生の多くが広島、長崎について知らないこと、原子核爆弾（報告者は核という用語をのぞいたこと意図的な誤導であって、ジャーナリストの科学的知識の欠如と批判している）の破滅的な影響と悲惨な実態を知らないこと、物理学による原子核による爆弾の破壊力、と科学の役割を重視してきたことがあります。筆者は偶然に、小山慶太著の『科学史年表』（岩波書店、2016 年）を読んでいたことから、いわゆる力は電磁気力（光も）、強い相互作用、弱い相互作用）があることは知っていたが、「ヴァイツゼッカーとベーテは 1939 年に独立に、陽子やヘリウムなどの軽い原子核同士が結合してより重い（A の大きな）原子核ができる（核融合反応：右斜め矢印の向き）と、できあがった原子核は反応前より強く結合しているので、結合エネルギーに差が生じ、エネルギーが放出されることに気づいた…障壁を透過して核分裂することが可能であると、マイトナーは見積もった。後に、この現象は生物の細胞が 2 つに分裂することを表す言葉 fission に倣って nuclear fission（核分裂）と名付けられた。中性子が引き起こす核分裂反応なので、厳密には中性子誘導核分裂と呼ばれる」など、図を投影して丁寧に説明されたが、90 分の講義では時間が足らなかったと思う。しかし、人類史的な視点で核兵器の変遷をみることは重要であることは理解できた（先の小山氏の著書は自然科学の誕生から『はやぶさ』の帰還」まで 400 年を書いている）。

下田氏は最後に、核分裂と化学反応の殺戮効果はかなり異なると強調され「核分裂の際には、核分裂片（分裂してできた原子核）だけでなく、中性子線、ガンマ線が放出され、容器や大気等の周りの物質を加熱しプラズマ（火球）が出現する。人々の全身の細胞を傷つけたのがガンマ線と X 線、わずかに遅れて中性子線である。その後、膨張する火球が冷えるにつれて人々には可視光（ピカ）が見えた。強力な赤外線などの光は体内の液体を沸騰させ、細胞や臓器を膨張破裂させ、体表面を焼いた。続いてやって来たのが、1 m²あたり 10 トンという圧力の衝撃波（ドン）であった。地上 500 m の高さでの爆発は、衝撃波を重ね合わせて増幅するためであった。最後に、木造家屋等の火災によって人々は焼かれた。このように、人々は繰り返し殺されたのである。」という記述は、科学的に知識のとぼしい筆者にも真に迫ってきた。

（以下、次号）

「日本の科学者」12 月号 特集『実効ある気候政策を迫る』を読んで

神奈川民間懇 北山宏之

以下は、知り合いの編集委員の方から依頼され、「読者の声」として「日本の科学者」に投稿した文書です。

島村論文では、脱石炭火力政策の問題点が述べられている。文中で、いつどの程度実現するかわからない CCS（CO₂回収・貯留）の導入、との指摘があり、よくわからないので調べたところ、日本の科学者 2020 年 9 月号の「言葉の玉手箱」に人為的 CO₂除去手段として様々な問題点が要約して説明されていた。この点をさらに突っ込んで、技術的な内容と展望のなさをわかりやすく説明してほしい。

和田論文の、再生可能エネルギーを生かし切るために蓄電池システムを導入すべし、とい

う内容は全国規模でも検討されるべき重要な提案だと思われる。

角田・竹本論文では、エネルギーの地産地消を目指して、市民主導の取り組みが紹介され、企業、市民運動、消費者が連携し、電力エネルギーが市民の管理できる真の意味での公共財に生まれ変わるという展望を描いている。この方向での発展系が、「人新世の資本論」（斎藤幸平著）で紹介されているスペイン・バルセロナの気候非常事態宣言に至る取り組みと思われる。社会運動が生んだ地域政党と粘り強い市民の取り組みがあったとされている。是非このような国際的に優れた経験を集めても組んで取り上げてほしい。

11.30 集会「いま 戦争と憲法に向き合う」の報告

九条かながわの会事務局

15 人が呼びかけた集会

11 月 30 日、神奈川を代表する 15 人の呼びかけにより、「11・30 集会 今 戦争と憲法に向き合う」が神奈川県民ホールで開催され、約 800 人が集まりました。うち、当日券は 267 枚で、新聞折込の効果があったようです。

実行委員長は岡田尚さん、事務局長は高橋由美さんで、呼びかけ人は、福田 護、森 卓爾、石黒康仁、馬鳥 敦、長瀬嘉宏、高橋廣康、住谷和典、菅野健一、水谷正人、後藤仁敏、仲築間卓蔵、中森圭子、新倉裕史、高梨晃嘉、伊藤 新の 15 氏でした。



写真 1 神奈川のうたごえの皆さん

神奈川のうたごえの皆さん

オープニングは神奈川のうたごえの 50 名以上の皆さんが、美しい合唱により「青い空は」と「今もどこかで」の 2 曲歌いました。すばらしい歌声に会場全体が魅了されました（写真 1）。

司会の金正徳さんが登場し、神奈川のうたごえと山崎洋子さんを紹介しました。

山崎洋子さんの挨拶

作家の山崎洋子さんは次のように開会のあいさつをしました（写真 2）。

宮津生まれの私は成長して横浜に来て、戦争について考えるようになりました。45 年 5 月 29 日の 8000 人から 1 万人が殺された横浜大空襲、戦後の占領軍の支配です。政府は米兵のための慰



写真 2 挨拶する山崎洋子さん

安所を設けた。生まれた子どもたちは闇に葬られたこともありました。

今日は戦争と憲法について、田中優子さんと金平茂紀さんが講演されます。素晴らしいお話ですので、ぜひ、お聞きください。

田中優子さんの講演

田中優子さん（法政大学名誉教授）は、「改憲発議と自民党憲法草案」と題して、以下ののように話しました（写真3）。

私は横浜生まれの横浜育ちで、神奈川の皆さんにお話しする機会をいただけて嬉しく思います。

自民党は18年に改憲4項目を発表したが、それは入り口でその先には12年に作成した自民党憲法改正草案がある。

現行憲法と比べると、天賦人権説を否定し、緊急事態条項をもうけ、憲法尊重義務を天皇・国務大臣・国会議員・公務員から国民に変えた。また、勝共連合の改憲案と同じ家族の保護を加筆している。

菅前首相は23条の「学問の自由」を知らなくて学術会議会員の任命拒否をしたが、同じ法政出身者として恥ずかしくなり、総長声明を出した。

改憲4項目の先には自民党案に書かれた異なる社会像があることをしっかり理解してほしい。



写真3 講演する田中優子さん

金平茂紀さんの講演

金平茂紀さん（TBS テレビ）は、「ウクライナ・憲法・メディア」と題して、次のように講演しました（写真4）。

2022年は50年前の1972年と似ていて、分岐点と位置付けられる。1972年には、札幌五輪、ベトナム戦争激化、沖縄返還、日中国交正常化などがあった。今年2022年は、新型コロナウイルスのパンデミック、ウクライナ戦争が起これ、国家とは何かが問われ、正義論と平和論が対立した。戦争は人殺しであり、一刻も早く和平を実現する必要がある。9カ月間で、何万人死んだのかも明らかにされていない。



写真4 講演する金平茂紀さん

安倍元首相が銃殺された7・8事件では、「パンドラの箱」が開いた。旧統一教会と自民党との構造的癒着が暴露され、国論分断のなかで、安倍元首相の神格化のため「国葬」が強行された。

ウクライナ侵攻は、歴史の切断点だ。日本につきつけたのは、戦争はしてはならない、でも他国から侵略されたら防衛のための戦争はやむを得ないのではと、憲法9条の根源的精神が問われている。

これはまぎれもなく侵略戦争なのに、「特別軍事作戦」と言っている。『満州事変』はじめ、あらゆる戦争は「自衛」「平和の維持」の名目で行われてきた。

私は、イスタンブールから陸路でルーマニアを経由して、2月25日にウクライナに入った。人びとは核シェルターに避難し、ウクライナからルーマニアに逃げる人びとでは、子連れと妊婦は優先されていた。

戦争になれば、勝つための報道になってしまう。BBC はロシア兵の死体を写したが、それはチェチェン人だった。

ガルージン駐日大使は離任し、後任は指名されておらず、駐日大使がいない事態がこの出来事の本質だ。ロシア人にはチャイコフスキーもドストエフスキーもいて、ロシア＝プーチンではない。

日本では、憲法改正の動きが活発化し、防衛費を増大して世界第3位の軍事大国へ、沖縄・南西諸島の基地機能強化が進められている。

戦争をしてはいけない、殺すな！の声を上げよう。「正義の戦争」はない。武器供与は「加担」だ。歴史を学ぶこと、ロシア国内の民衆の声と連帯することが大切だ。

この場にいる人は少数派で、小異を捨てて大同につくこと、分断より連帯を、声を上げ続けること、メディアを応援し、魅力的なひと・こと・もの、ユーモアを忘れないでほしい。

青年の発言

その後、青年から発言があり、それに山崎・田中・金平さんが応えました（写真5）。

最後に、岡田尚実行委員長が「参院選の結果、改憲派にとっての『悪夢の3年』と言われたが、7・8事件で大きく情勢が変わったという認識を共有しましょう」と閉会挨拶しました。

出演された神奈川のうたごえ、山崎洋子さん、田中優子さん、金平茂紀さん、参加された皆様、スタッフの方々、写真を提供された石井拓生さんに厚くお礼を申し上げます。



写真5 青年と向き合う田中、金平、山崎さん

（「九条かながわ」No. 25 より）

安保法制違憲かながわ訴訟、東京高裁での第1回控訴審の報告

後藤仁敏

12月6日、安保法制違憲かながわ訴訟の第1回控訴審が東京高裁 101 号法廷で開かれ、傍聴席を埋めつくす多くの原告らが集まりました。

まず、原告を代表して横浜市立大学名誉教授の中西新太郎さんが、次のように意見陳述しました（図 1）。横浜地裁判決は安保法制の問題点を指摘するという評価できる部分もあるが、現時点では生命身体侵害の具体的危険が生じていないとして、権利侵害を否定しました。

しかし、新安保法制にもとづいて、自衛隊は米国など他国の軍隊と共同演習を盛んに行なっ

ており、基地の町横須賀に住む者として、不安は増えています。

次いで、福田護弁護士が、横浜地裁判決問題点、そのいい点と悪い点を指摘しました（図 2）。いい点は、安保法制の不明確性を指摘し、そのままの適用について危惧を表明し、再検討を求めている点です。全国 27 の判決のうち安保法制の問題点を指摘した唯一の判決となっています。しかし、判決は権利侵害を否定し平和的生存権、憲法改正決定権も否定しました。戦争が始まってから裁判所に来いというのでしょうか。政府は敵基地攻撃能力の保有も進め、憲法 9 条のもとで、防衛費を 5 年で 43 兆円使って、敵のミサイル基地だけでなく、指揮統制機能を攻撃するとしています。内閣法制局はどこへ行ったのか、この訴訟でこの国を正して行きたいと述べました。

石黒康仁弁護士は、安保法制により、自衛隊が米国の判断で行動するようになり、トマホークミサイルやスタンドオフミサイルを配備し、インド洋でも他国軍と共同訓練し、これまでの後方支援から前に出て米軍と共同行動するようになったと、安保法制の危険性を指摘しました。

裁判終了後、報告集会でも福田・石黒弁護士と中西さんが、意見陳述の内容を報告しました。

全国の状況について福田弁護士は、「最高裁で 1 件、高裁で 19 件裁判が行われており、高裁では 2 回目で結審したのが 2、3 件あること。山梨の件で裁判長が早稲田学の長谷部恭男教授の意見書を求めた例もある。長野では東京大学の石川健治教授の意見書は作成したが、証人は却下された。神奈川で石川証人を実現させたい」と述べました。

関守麻紀子弁護士は「場所が遠くなったので、どれくらい傍聴人が集まるか心配したが大勢の方が来てくださって嬉しい。若い人にも呼びかけて行きたいと」述べました。

最後に、岡田尚弁護士が「ノーベル平和賞に安保法制違憲訴訟をという声もある。若い人と一緒に楽しく運動を進めよう」と述べて閉会となりました。



図 1 報告する中西新太郎さん



図 2 報告する福田護弁護士

自己紹介：神奈川支部の活動に参加して

益田総子

幹事の益田総子です。55 年前の医学部卒業ですので、80 歳を越えました。卒業後すぐ結婚し 2 人の子どもが生まれ、時間的余裕がないまま、小児科医として病院に勤務しました。肩書は小児科医ですが、小児科医局に在籍したことはなく、小児科学会にも所属していません。漢方薬の本を多数出版した関係で、漢方医といわれたりしますが、東洋医学会にも所属していません。要するに学会の所属なしです。

15 歳の時に父親が今でいう医療ミスで突然亡くなり、母が子ども 5 人を抱えた母子家庭になり、「お金がない、お金がない。子どもが 5 人もいるし、うちは貧乏だ」といい続け、「赤貧洗うが如し」とはこれだと私は信じ込んでいました。

そのため「学費は自分で稼ぐ」条件で、横浜から通学できる範囲の国立大学を5人とも卒業しました。当時は、60年安保と70年安保の真ん中で、世間全般の空気が今よりずっと活気があり、自由でした。

当時の国立大学の年間授業料は9千円。日本育英会の特別奨学金と家庭教師のアルバイトで、医学部の6年間を賄いました。数少ない医学部の女子学生なので「安心して娘を頼める」という理由で、バイト先は数多。

この話を仲のよい同級生に話したら「あなた変よ。本当に貧乏だったら私達の世代は、高校に行けなかったはず」と指摘され、自分が少し変だと初めて気がつきました。

その後も他人の話をすべて鵜呑みにする性格のため、世間的には相当ずれているようです。50代の頃に患者さんから「世間知が低い」「やっぱり本当に天然なんですね」といわれ、意味が全然わからず、辞書で調べたり、看護師に質問したりして、その用語の使い方を少しずつ知りました。でも、今も明確には自分の状態を自覚できません。

4年前に開業していたクリニックを閉じ、パートタイムで神奈川診療所に勤務するようになり時間的に余裕ができ、「日本の科学者」をよく読むようになりました。「定期刊行物の発送作業の手伝いくらいはできる。枯れ木も山の賑わい」と考え、神奈川支部の例会に毎月参加するようになり、3年たちました。想像したよりはるかに居心地がよく、コロナ禍でも「愛」を感じられます。

この私のレベルでも大丈夫ですから、どなたでも気楽に「科学者会議」の会員になって、例会に参加してみてください。

今後の行事

- ☆12月15日（木）①10:30～、②14:00～、③19:00～ **第409回茅ヶ崎良い映画を観る特別例会** 映画「おじいさんと草原の小学校」（ジャスティン・チャドウィック監督）の上映 会場：茅ヶ崎市民文化会館（茅ヶ崎駅北口徒歩10分） 入場料：前売1000円、当日1200円（高校生以下無料） プレイガイド：茅ヶ崎市民文化会館、長谷川書店（茅ヶ崎駅北口と同南口） 主催：茅ヶ崎良い映画を観る会 後援：茅ヶ崎市、茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団 問合せ：福田（0467-86-8038）、山本（090-5408-4041）
- ☆12月15日（木）18:30～20:00 **不戦を誓う集会 改憲させない県内街頭宣伝行動** 会場：神奈川県立労働プラザ（石川町駅徒歩3分） 講演：特権を問うー日米地位協定の実態を追いかける（仮） 講師：大場弘行・加藤隆寛（毎日新聞取材班） 主催：戦争させないかながわの会
- ☆12月17日（土）13:30～14:30 **スタンディング・デモ「憲法にもとづく政治の実現」大軍拡でなく生活・物価対策を** 場所：桜木町駅前南改札東口（降雨時は野毛地下道入り口付近） 主催：憲法共同センター 問合せ：045-212-5855（神奈川労連）
- ☆12月17日（土）13:30～ **第4回うたはともだちコンサート** 会場：藤沢市民会館小ホール（藤沢駅徒歩10分） 参加費1000円、中高生300円、小学生以下・障害者無料 主催：藤沢合唱団 問合せ：070-1315-3501（新井さん）
- ☆12月17日（土）13:30～ **原子力空母の横須賀母港問題を考える市民の会 2022年総会&上映会** 映画「島を守るー第1章波紋ー」 会場：横須賀市産業交流プラザ3階第一研修室（京浜急行汐入駅徒歩3分） 参加費無料 先着70名 主催：原子力空母横須賀母港問題を考える市民の会（横須賀市民法律事務所内 046-827-2713） 当日の問合せ：090-4835-6681（大幡さん）
- ☆12月17日（土）14:00～ **教科書を考える市民の集い 2020年「つくる会」教科書不採択と2024年めざす新たな教科書問題** 会場：かながわ県民センター301号室（横浜駅西口下車徒歩5分、ヨドバシカメラ横の橋渡る） 参加費500円（高校生以下無料） 講演：吉田典裕さん（出版労連教科書対策部）、報告：横浜市の育鵬社不採択と残された課題（横浜教科書採択連絡会） 参加はマスク着用をお願いします。コロナ拡大による開催の有無は以下にお問合せください。主催：横浜教科書採択連絡会 連絡先：電話 090-9293-

- ☆12月17日（土）講演14:00～16:00、レセプション16:30～18:30 **茅ヶ崎革新懇結成20周年記念講演とレセプション** 会場：茅ヶ崎市民文化会館（茅ヶ崎駅北口徒歩10分）参加費：講演会のみ500円（資料代）、講演会・レセプション2500円（飲食代）講演：清水雅彦（日本体育大学教授）「ウクライナ戦争と憲法9条」主催：茅ヶ崎革新懇 連絡先：増田（070-4441-0333）、山本（090-5408-4041）
- ☆12月18日（日）13:00～16:30 **ベトナム行き戦車を止めて50年 戦車阻止闘争50周年記念行事** 会場：かながわ建設プラザ2階ホール（東神奈川駅徒歩8分）資料代500円 講演：末浪靖司さん（ジャーナリスト）「戦車闘争からウクライナ、台湾有事を考える」、布施祐仁さん（平和新聞前編集長）「戦車闘争と日米地位協定」特別報告：岡田尚さん（弁護士）「安全保障は国の専管事項か」主催：神奈川平和委員会 問合せ：045-231-0103
- ☆12月18日（日）13:00～ **有害物質PFAS汚染の原因究明・立入調査・排出停止を求める市民集会** 会場：産業交流プラザ第1研修室（京急汐入駅西口徒歩3分）参加費無料 報告：PFAS汚染現場（排水処理場、吾妻島貯油施設）報告 市川平（ヨコスカ平和船団）、横須賀市要請行動から見てきたこと 呉東正彦（弁護士）、市議会でPFAS問題をとりあげて 大村洋子（横須賀市議員）主催：米軍基地PFAS汚染に関する横須賀市への要請17団体（046-827-2713）
- ☆12月18日（日）13:15～ **第20回12月集会in2022 憲法と教育の改悪を許さない！** 会場：全国教育文化会館エデュカス東京7階ホール（地下鉄麹町駅5番出口徒歩2分）資料代：会場参加800円、zoom参加1000円、大学生・高校生以下は無料 第1部：核兵器の廃絶をめざして 東京学生平和ゼミナール 英語スピーキングテストの中止を求めて 沖浜真治さん 第2部：東京の学校現場と運動からの報告 小学校、中学校、都立高校、特別支援学校、都立大学 「日の丸・君が代」裁判・夜間定時制存続 第3部：講演 山田朗さん（明治大学教授）「国葬」、大軍拡、学問・教育統制 主催：実行委員会 連絡先：河合090-6137-0876 zoom参加申込み：名前、住所、メールアドレス、電話を12月10日までに、下記に送ってください。参加費振込、zoomへの配信を連絡します。fuyuyukai@gmail.com
- ☆12月18日（日）13:30～ **中国映画を観る会 「グォさんの仮装大賞」（チャン・ヤン監督）** 会場：戸塚区役所3階多目的スペース中（戸塚駅西口徒歩1分）資料代500円 問合せ：080-5081-6522（大幡さん）主催：日中友好協会横浜西南支部
- ☆12月18日（日）14:00～16:30 **九条科学者の会2022年12月講演会 立憲主義国家の破壊と再生ーウクライナ侵略と安倍国葬を手がかりに Zoomによるオンライン開催** 要申込：開催1カ月前から受付します。氏名、連絡先（電話番号）を記して、m2-office@9-jo-kagaku.jpにメールし、ログイン情報を受け取ってください。講演1：日本国憲法平和主義の今日的意義 奥野恒久さん（龍谷大学政策学部教授）、講演2：歴史のなかの「安倍国葬」問題 宮間純一さん（中央大学文学部教授）主催：九条科学者の会（<http://www.9-jo-kagaku.jp>、m2-office@9-jo-kagaku.jp、03-3811-8320）
- ☆12月18日（日）14:00～16:00 **草の根歯科勉強会 死別体験者の「分かち合い」とは** 会場：梨の木カフェ（水道橋駅徒歩3分、会場は10名まで）要申込：電話03-5340-9282、yayoiokada@pcsu.mfnet.ne.jp 講師：みなと和夫氏（ちばグリーンサポート代表）主催：草の根歯科研究会
- ☆12月18日（日）14:00～16:00 **JCJオンライン講演会 映画「教育と愛国」を語るー監督・齊加尚代さん（毎日放送ディレクター）** 参加費500円 次のPeatixのurlをクリックして支払いください。
<https://kyoikutoaikoku.peatix.com/> ①参加券の枚数を選ぶ、②支払いをカードかコンビニ払いかなど選ぶ、③初めての方は氏名とメルアドを登録し、パスワードなど設定。JCJ会員は onlinejc20@gmail.com にメールで申し込みください。主催：日本ジャーナリスト会議(JCJ) 電話：03-6272-9781
- ☆12月18日（日）14:30～ **くらしの相談センター年末パーティー** 会場：東海道かわさき宿交流館4階（JR川崎駅徒歩10分）歌、三味線など 会費1000円（ワンドリンク付、アルコールなし）問合せ：044-246-6823
- ☆12月19日（月）10:30～ **開廷 防衛大学校人権侵害裁判** 場所：横浜地裁 101 号法廷 ※100 人傍聴可 証人の採否が決定します。傍聴での支援をお願いします。終了後、報告集会と支援する会第3回総会を開催 会場：万国橋会議センター405 会議室 防衛大学校人権侵害裁判を支援する会
- ☆12月19日（月）18:30～ **12・19 国会議員会館前行動** 場所：衆議院第2 議員会館前を中心に フィジカルディスタンスを確保しながらスタンディング できるだけ各自のプラカード持参を 共催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会／9条改憲NO！全国市民アクション
- ☆12月20日（火）公演「あの夏の絵」 ①14:00～、②19:00～ 会場：ハーモニー座間ホール小ホール（小田急線相武台前駅徒歩15分）前売り一般3000円、30歳以下2000円、障害者1500円、高校生以下1000円 当日+500円 主催：実行委員会（042-747-3588）
- ☆12月20日（火）18:00～20:00 **オンラインイベント：軍事研究と科学者 経済安保法が成立した今、懸念**

- される福島浜通りのこと** 登壇：吉田千亜（フリーライター、日本ペンクラブ女性作家委員会委員長）
司会：宮崎信也（日本ペンクラブ環境委員会委員長） 定員500名 参加費無料 開催方法：Zoomウェビナー 申込方法：1. Peatixでのお申込み <https://jpen2022-eco01.peatix.com> Zoomウェビナーの参加URLは申込み後に 視聴ページの「お知らせ」で確認いただけます。2. 日本ペンクラブへの申込み
名前と参加メールアドレスを明記し、下記アドレス宛に申込み下さい。ecopen@japanpen.or.jp Zoomウェビナーの参加URLはメールでお知らせします。主催：一般社団法人日本ペンクラブ 企画：環境委員会
- ☆12月21日（水）18:00～19:00 **改憲させない県内街頭宣伝行動** 場所：桜木町駅 主催：戦争させないかながわの会
- ☆12月21日（水）18:30～20:00 **横浜での温暖化対策の進め方 オンラインシンポジウムー気候危機打開の取り組みは雇用が増え経済も良くなる** メインキャスト：明日香壽川（東北大学教授） 日本共産党横浜市議団ホームページでライブ配信 主催：日本共産党横浜市議団 問合せ：045-671-3032、
<http://www.jcp-yokohama.com/archives/28563>
- ☆12月22日（木）17:00～19:00 **『ヨコハマ市民自治を考える会』の定例会** かながわ県民センター711号室、市民自治に関心のある方は是非お越しください。Eメール kura335200@star.ocn.ne.jp 参加費 300円
- ☆12月24日（土）**改憲させない県内街頭宣伝行動** 10:30～11:30 場所：登戸駅、12:30～13:30 場所：新百合ヶ丘駅 主催：戦争させないかながわの会
- ☆12月24日（土）13:30～16:30 **Zoom 市民フォーラム 多数の患者の全ゲノム解析推進とは一差別生まぬようにするには** 講師：松原洋一先生（国立成育医療研究センター理事、東北大学名誉教授）、横野恵先生（早稲田大学社会科学部 准教授）、武藤香織先生（東京大学医科学研究所教授） 司会：島菌進先生（大正大学客員教授、東京大学名誉教授） 参加方法：事前予約必須（予約受付期間は即日12月21日まで） 予約方法：セミナー名「多数の患者の全ゲノム解析推進とは」（必須）、名前（必須）、連絡先（E-mail 必須）を明記の上、下記 E-mail 先へ申込みください。E-mail：jreikochan@yahoo.co.jp 神野玲子 またはこちらから → <https://forms.gle/5xChmXuZCnn4CNtU6> E-mail アドレスを誤ると参加案内が送れませんので注意してください 参加費：1000円 12月21日までに下記に振込みください。郵便局からの送金の場合 口座番号 10290-70860881、他行からの送金の場合 ゆうちょ銀行 028 店（セロニハチ）普通 7086088 口座名義 神野玲子 案内詳細：振込確認後、案内および Zoom URL を12月21日頃メールにて送ります。主催：ゲノム問題検討会議 <https://www.gnomeke06.net/>
- ☆12月24日（土）14:00～ **デュオ・オブリガートクリスマスコンサート** 会場：旭区民文化センター・サンハート音楽ホール（相鉄線二俣川駅徒歩2分） 前売り券2500円、当日券3000円 出演：泉恵子（ヴィオラ）、杉本正（コントラバス） 演目：チャイコフスキー作曲「くるみ割り人形」（弦楽二重奏版）ほか 問合せ：090-9101-0368（杉本さん）
- ☆2023年1月4日（水）10:00～ **新春 厚木基地フィールドワーク&学習会 現地体験&交流・学習** 10時相鉄線相模大塚駅改札集合 場所：厚木基地北側滑走路（相鉄トンネル側） 参加費300円 予定：相模大塚駅→フィールドワーク 11:30→学習交流12:30～15:00 会場：大和 シリウス・昼食 各自用意 主催：神奈川県平和委員会・大和市平和委員会・瀬谷区平和委員会 連絡先：045-231-0103
- ☆1月5日（木）13:30～16:30 **危機に迫る私たちの生活と軍事問題** 講師：天笠啓祐さん（ジャーナリスト、市民バイオテクノロジー情報室代表）、小寺隆幸さん（軍学共同反対連絡会事務局長） 会場：東京ボランティア・市民活動センター・会議室A,B（JR飯田橋駅隣、飯田橋セントラルプラザ10階 TVAC） アクセス <https://www.tvac.or.jp/tvac/access.html> 参加費：会場参加は500円、ZOOM参加は事前申込み 無料（ご寄付歓迎） 郵便局からの送金の場合：口座番号 10290-70860881、他行からの送金の場合：ゆうちょ銀行 028 店（ゼロニハチ）普通 7086088 口座名義 神野玲子 事前申込み：参加希望者は事前に下記メールあてに必要な事項明記の上、1月3日までに申込みください。必要事項：名前、職業、メールアドレス 申込み先 E-mail jreikochan@yahoo.co.jp または <https://forms.gle/FFLwPbV3N6GerwDV9> 当日の詳細案内：申込みされた方には1月4日ころにzoomのURLなどを案内します 主催：ゲノム問題検討会議 <https://www.gnomeke06.net/> 問合せ：神野玲子 E-mail：jreikochan@yahoo.co.jp 携帯番号：090-2669-0413
- ☆1月14日（土）**改憲させない県内街頭宣伝行動** 10:30～11:30 場所：青葉台駅、12:30～13:30 場所：武蔵溝ノ口駅 主催：戦争させないかながわの会
- ☆1月14日（土）14:00～ **1・14報告集会『クーデターから2年 ビルマの今』** 場所：連合会館2F 大会議室 主催：在日ビルマ人コミュニティ後援：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会
- ☆1月15日（日）14:00～16:00 **第89回草の根歯科勉強会 今こそ人類主義を！～国際主義を越えてエスペラントの内在思想を深めよう** 会場：梨の木カフェ（水道橋駅徒歩3分、会場は10名まで）zoomあり 要申込：電話03-5340-9282、yayoiokada@pcsu.mfnet.ne.jp 講師：大類善啓氏（方正友好交流の会）主

催：草の根歯科研究会

- ☆1月17日(火) 14:00～15:00 **「日本の科学者」「支部通信」発送作業と支部幹事会** 会場：かながわ総研会議室(横浜市中区不老町 2-8-8 不二ビル6階604号室、045-662-9839) 交通：JR 関内駅南口または地下鉄伊勢佐木長者町徒歩5分、旧横浜文化体育館北側 連絡先：飯岡ひろし(携帯電話 080-1987-0994、E-mail: iioka408(at)gmail.com)
- ☆1月21日(土) 13:00～ **横須賀から見える“軍拡”の実態と「安保3文書」** 会場：産業交流プラザ第一研修室(京急汐入駅徒歩3分) 資料代500円 講演：吉田敏浩(ジャーナリスト)「安保3文書」はこの国をどう変えようとしているのか 報告：新倉裕史(非核市民宣言運動・ヨコスカ/ヨコスカ平和船団)先制攻撃の街・横須賀から見える“軍拡”の実態 主催：ヨコスカ平和船団/非核市民宣言運動・ヨコスカ(046-825-0157)
- ☆1月22日(日) 受付13:15分、開会13:30 **第18回新社会党新春講演会** 会場：横浜市技能文化会館802会議室(JR関内駅下車徒歩5分) テーマ：ウクライナ戦争と新自由主義経済の行き詰まり 講師：孫崎 亨さん(元外交官・政治学者) 資料代800円 連絡先・吉田(090-2542-0413)
- ☆1月28日(土) 16:30～18:30 **講演会：東アジアで戦争を呼ぶのは誰か 中国包囲網・琉球弧での日米戦争計画** 会場：かながわ県民センター301(定員90名、横浜駅西口徒歩5分) 講師：高井弘之さん(「ノーモア沖縄戦・えひめの会」) 資料代800円(学生無料) 連絡先：070-6481-4362 共催：ストップ秘密保護法かながわ、共同行動のためのかながわアクション
- ☆1月28日(土) 18:00～20:30 **講演会 金平茂紀が語る政治とメディアのタブー** 会場：鎌倉生涯学習センターホール(鎌倉駅東口徒歩5分) 入場料700円 20歳以下無料 マスク着用のこと 申込み：mail kamakura9jo@gmail.com 氏名、電話、予約枚数記入 fax 0467-60-5410 氏名、電話、fax番号、予約枚数を記入 受付後、返信メールまたはFaxを送ります。店頭：島森書店、たらば書房 問合せ：0467-24-6596 主催：鎌倉・九条の会
- ☆1月30日(月) 18:00～21:00 **オルタナティブな日本をめざして(第81回)：「リニア新幹線は実現可能か？」(樫田秀樹さん：新ちよぼゼミ)** 講師：樫田秀樹さん(フリージャーナリスト) 会場：スペースたんぼぼ(高橋セーフビル1階、JR水道橋駅西口5分) 参加費(資料代含む)：800円(学生400円) 予約の受付：たんぼぼ舎(水道橋)：TEL 03-3238-9035 に電話していただき「受付番号」をもらってください。
- ☆2月11日(土、休) 12:50～ **「建国記念の日」に反対する2.11神奈川県民のつどい「憲法と教育」の今日的課題～人権・平和・民主主義の守り手は～** 講師 前川喜平さん(元文部科学事務次官) 会場：かながわ県民センター2階ホール(横浜駅西口下車徒歩5分) 資料代500円(高校生以下は無料) 感染防止のため、当日はマスク着用・検温・手指消毒にご協力ください。主催：2.11神奈川県民のつどい実行委員会 連絡先：神奈川労連(担当・住谷、045-212-5855)
- ☆2月18日(土) **改憲させない県内街頭宣伝行動** 10:30～11:30 場所：鎌倉駅、12:30～13:30 場所：逗子駅 主催：戦争させないかながわの会
- ☆2月18日(土) 14:00～17:00 **JSA神奈川支部2023年研究交流会** 会場：かながわ労働プラザ4F・11号会議室横浜市中区寿町1-4、045-633-5413 交通：JR石川駅中華街口(北口)徒歩3分、地下鉄伊勢佐木長者町駅出口2徒歩12分 終了後、有志で新年会の予定 連絡先：飯岡ひろし(携帯：090-1557-9941、iioka408(at)gmail.com)
- ☆4月8日(土) 14:30～ **春、いちばん！ 第29回コンサート** 会場：多摩市民館大ホール(向ヶ丘遊園駅徒歩5分) A席1500円、B席1300円、子ども・障害者席500円 新年早々発売 第1部：混声合唱のための童謡メドレーいつの日か 第2部：今だからこの平和の歌を 第3部：混声合唱のためのいのちをつなぐ人たちのうた 指揮：山寺圭子 ピアノ：中山真理 主催：合唱団いちばん星 問合せ：090-9147-2829(吉田治夫)
- ☆5月28日(日) 14:00～16:00 **第90回草の根歯科勉強会 薬を飲む前に知っておきたいこと・考えたいこと〈パート2〉** 会場：梨の木カフェ(水道橋駅徒歩3分、会場は10名まで) zoomあり 要申込：電話03-5340-9282、yayoiokada@pcsu.mfnet.ne.jp 講師：廣島彰彦氏(株・山崎帝國堂・薬剤師・医学博士) 主催：草の根歯科研究会

次号の原稿の募集：近況、論説、報告、旅行記、論評、自著紹介、書評、その他、原稿をメールまたはファックスでお寄せください。毎月10日ごろの締め切りです。

送り先：後藤仁敏(E-mail: goto(at)kd5.so-net.ne.jp、Fax: 045-894-1052)